

雪吊の 松の根方に 陽の石 (二江)

石段の 脇にみつけて 花すみれ (隆治)

梅一輪 思案思案の 寒さかな (正雄)

光圀の 愛でし石橋 冴え返る (前歩)

咲き初むる 紅白の梅 風の中 (奉男)

果てしなき 時を超えたる 冬大樹 (由美)

小石川 人出まばらの 梅まつり (隆行)

梅が香や 風吹く中に 薄日あり (太郎)

春浅き 岸に寄りくる 鯉の影 (平六)